

令和5年度 磯子地域ケアプラザPDCAシート公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

磯子駅周辺は、公共施設や医療機関、スーパーなどの商業施設があり便利です。しかし、中高層住宅等では高齢者の孤立が目立ち、医療・食事・生活環境・経済的困難等の問題が多くみられます。
 駅から離れた丘陵地は、景観が良く、静かな住宅地が広がっています。しかし、公共交通の便が悪く、医療機関や商業施設が不足しているため、外出や買い物等の生活課題があります。現在、コンビニの移動販売、スーパーの買物バス運行サービスが始まっています。
 子どもに関しては、「子ども食堂」や区の事業である寄り添い型「学習支援事業」を通し、貧困・孤食などの問題が明らかになっているため、ボランティア中心で運営している、事業を支援します。
 コロナ禍での外出自粛や集う場が減ったことにより、高齢者の孤立・閉じこもり、身体機能や認知機能の低下、意欲低下、経済的な問題等が見られており、それに伴う相談も増加しています。コロナ禍で地域の繋がりが薄れている中で、更なる地域活動を推進するために、地域での見守りや介護予防、認知症予防、居場所づくりに努めていきます。そのための担い手支援も行います。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	磯子三丁目団地の中庭にて福祉・保健に関するイベントを行い、多くの方に相談窓口や支援の情報提供を行う。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自主事業「こいそCollege」でポッチャの体験講座を開催し、自主グループを立上げ、地域での多世代交流の場となるようポッチャをきっかけとした交流の場を作る。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	コロナ禍で中止していた「いそプラ祭」を磯子センター・磯子区社会福祉協議会との3館合同のまつりとして再開し、3館協働して地域の方との交流の場とする。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の会合やサロン等に出向き、介護保険や地域包括支援センターについての出前講座を実施し、適切に相談につなげられるよう制度の普及啓発に努める。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	『地域安全ニュース』の掲示、『消費者被害瓦版』の発行等を行い、消費者被害・特殊詐欺の注意喚起に努める。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

4年ぶりに再開となった「いそプラ祭」を磯子センター、磯子区社会福祉協議会との3館合同「いそふれあいフェスティバル」と名称を変更し開催しました。磯子区民まつりと同時開催にしたことで、駅前から続く一体感のあるお祭りとなりました。また、自主事業「こいそCollege」では、磯子地域ケアプラザをご利用の団体に協力していただいたポッチャの普及啓発を実施しました。
 その他、株式会社URコミュニティとの共催で実施した磯子三丁目団地でもイベントを実施。近隣の事業所にも協力していただき、次年度以降も継続して行くことになりました。
 新しい取り組みも増えつつある中、地域活動も徐々に再開され認知症サポーター養成講座や介護予防教室など伺わせていただきました。引き続き、磯子地域ケアプラザが主体となっている事業の自主グループ化や消費者被害・特殊詐欺の注意喚起なども取り組んでまいります。

区からのコメント

ふれあいフェスタや浜マーケットイベントでノベルティ配布等でスイッチON周知にご協力いただきました。また、三丁目団地の健康まつりは新規事業ながらケアプラザの他に市資源循環局や社会教育コーナー、多文化共生ラウンジ等近隣機関ともに地域ニーズにあった企画をしていただきました。地区別計画の推進については、ケアプラザ事業の自主化同様、少しずつ色々な角度から地域主体となって頂けるような支援をお願いします。
 介護予防や認知症の普及啓発の取組・イベントを実施し、継続的に実施する見通しが立っています。支援が必要な方が、早期に支援につながるよう、引き続き普及啓発の取組の推進をお願いいたします。